



カンボジアの子ども達の 教育を支援する会

No.12 2013年12月26日

The Society of Educational Support for Children in Cambodia

◆最近のカンボジア◆

代表 横山正幸

カンボジアの首都プノンペンの、従来の12月の最高気温の平均は30.1度、最低気温の平均は21.7度です。ところが、このところ異常気象が続いているようです。プノンペンからのメールによると、今日12月17日現在の最高気温は23度、最低気温は17度とのことでした。カンボジア人が今までに体験したことのない寒さです。予報では1月まで続くと言われているそうです。

一昨年、カンボジアでは大きな洪水が全国を襲いました。私たちが支援しているコッ・ブラック小学校も胸の高さまで浸水し、11月の末まで授業のできない状態が続きました。今年は、一昨年ほどではありませんが、それでも8月から大雨が続き、膝の高さまで水がきたそうです。もちろんその間授業はできません。水が引き、授業を再開したのは10月末と聞いております。

南の国で、暑さは厳しいものの自然災害とは無縁の感じがしますが、このところの気候変動は日本だけではないようです。

政治の面でも微妙な変化が起きております。日本の新聞、テレビのニュースでは全く報道されていませんが、7月28日に下院の総選挙がありました。結果として、与党カンボジア人民党が過半数を確保し、政権の継続は決まったのですが、最大野党のカンボジア救国党も大きく議席を増やし、フン・セン首相に対する「長期独裁」「汚職・賄賂政治」への批判から、9月にはいって大規模なデモが繰り返し行なわれました。警察の車両も投入され、死者もでました。背景には、貧富の格差の拡大などがあるようです。支持層は20~30代の若者だときいています。

地方では、私が初めてカンボジアを訪れた頃と比べ、人々の生活は今も貧しく、あまり向上しているようには見えません。しかし、首都プノンペンの変貌は、著しいものがあります。高層ビルや日本で見かけるようなしゃれたレストランもどんどん建っています。少なくとも表通りは、道路も整備され、ゴミもかつてのようにはありません。人々の服装もあかぬけしたものになってきております。5年もすれば、表面的には、先進国の街と変わらない美しい街となることでしょう。

若者たちの生き方も、この数年間で大きく変化してきております。かつては現実の生活が貧しいことや、大学を卒業しても特にメリットがあるわけではない、という理由から高等教育を志す若者は限られていました。しかし、今では家族のために、また自分の夢の実現のためにできたら大学に進学し、勉強したいという若者がどんどん増えてきております。そのため、受験競争も激しくなってきました。日本では、「内向き志向」と言われるように留学や海外勤務を希望しない大学生のことが話題になっていますが、カンボジアでは、英語や中国語など2ヶ国語をマスターし、機会があったら留学したいという学生がいっぱいいます。私たちの会が支援している王立プノンペン大学日本語学科の学生達もそうです。このレターNo.12号では、そうした学生達の生活作文を掲載してみました。

会の事務局ではカンボジアをアンコール・ワットと地雷と貧困という固定概念で捉えるのではなく、様々な変化を見つめながら必要な、また可能な支援活動をしていきたいと思っております。

今後とも、どうぞご協力よろしくお願い致します。



2013 年度新規奨学生のご紹介

今年度の奨学生は、ソウ・シーヤンさん、ヘン・チャンポウさん、ディン・ソポオンさんの3名に決定しました。その中から2名の作文をご紹介します。



私の将来の夢

王立プノンペン大学2年生

ヘン・チャンポウ

私はヘン・チャンポウです。今年、日本語学科の二年生です。二十二さいです。兄弟は七人います。兄が二人で姉が四人います。私は末っ子です。家族の生活がふべんですから兄と姉は小学校までしか勉強していません。家族の中で私しか大学で勉強していません。ですから、私はいつしゅうけんめい勉強しなければなりません。みなさん、夢は何ですか。私の夢は日本語の先生になることです。どうしてこの仕事をえらびますか。

私は小学生のとき、日本語を勉強したことがあります。一週間に一日だけ勉強しました。日曜日です。授業の時間が少なかったのですが、みんなすごく勉強しました。私の小学校は日本人から支援をしてもらっていました。日本語を勉強して、日本と日本人を知りました。日本人が一年に一回学校へきました。私と私の友だちは日本語で(自己)紹介をしました。あとでプレゼントをもらいました。うれしかったです。でも、中学生になったとき、日本語を勉強しませんでした。日本語の先生がいませんでしたから。教えたことがある先生はやめました。この学校はプノンペンからとおいでです。日本が好きなので、高校をそつぎょうしたあとで、プノンペンへ行って、日本語学科に入学しました。そしてもし日本語がよくわかったら、ふるさとの学校で教えたいとおもいます。一つは日本のぶんかをもっとしりたいです。とくにまんがやアニメなどがおもしろいとおもいます。

私は日本語が好きです。教えるのはたのしいとおもいます。毎日学生に日本語を話して教えてあげたいとおもいます。

■ヘン・チャンポウさんの1年生の時の成績は履修登録科目 10 科目のうち4科目がA評価で、GPA は最高の 4.0 です。



私の将来の夢

王立プノンペン大学2年生

ソウ・シーヤン

私は王立プノンペン大学外国語がくぶ日本語がつかのソウ・シーヤンともうします。スヴァリエン(注:ベトナムとの国境に近い州)からきました。二年生です。

世界中の人々はみんなべつべつの夢があります。私の夢は日本語の先生になることです。子どもの時、りょうしんは村で先生をしていました。でも、九さいのとき、母は病気でしんでしまいました。しぬ前に、母は「あなたは勉強を一生けんめいがんばっていい先生にならなければなりません」と私にいいました。その時から難しいですが、かならず先生になるときめました。私は一生けんめい中学校から高校まで毎日勉強していました。高校を卒業するまえに、学校のしょうがくきんの本(注:成績によって授業料が免除になるカンボジア国内の大学、学科、専攻について書かれたガイド・ブックのこと)をもらいました。本の中にいろいろな専門がありました。日本語が一番面白そうでした。その時、日本で勉強して日本語の先生になることをきめました。たくさん勉強してやっと日本語のしょうがくきんの学生(注:授業料免除の学生のことに)合格しました。

勉強する前、日本語がぜんぜんわかりませんでした。とても難しかったですが、面白かったです。でも少し日本語を勉強したあとで、だんだんと日本国についてしりたいと思うようになりました。日本での習慣と生活はどうなのか。日本人はどんな人なのか。そして日本は昔戦争をしました。カンボジアも同じように戦争がありました。でもどうして日本はカンボジアよりずっと進歩しているのでしょうか。そのことについていろいろしりたいので、先生になりたいです。

日本語の先生になったら、いなかで子どもたちに日本語を教えるつもりです。とくにりょうしんのいない子どもたちです。子どもたちにがんばってほしいです。それで日本語ができるようになったら、じぶんで仕事を見つかることができます。今ではカンボジアにたくさん日本の会社があります。働く人がふえれば、国ははってんしていくと思います。

今は日本語の先生になれてはいませんが、夢があるので、かならずなるつもりです。毎日、ことば、漢字、文法などいろいろなことを勉強しなければなりません。特に日本の習慣は難しいです。夢を叶えることは本当に難しいですが、何でも問題をがまんしたら夢が叶えるつもりです。

■ソウ・シーヤンさんの1年生の時の成績は、登録履修科目12 科目中8科目がA評価で、GPA は最高の 4.0 です。





最近の学生生活

王立プノンペン大学4年生

ロット・フィリヤン

時間が経って、今四年生になりました。家族、友達、先生から色々教えてもらいました。そして、SESCC の皆様からの奨学金のおかげで無事にこの三年間の学生生活をおくることができました。それに感謝するという気持ちで頑張っています。

四年生になったのは、今年の九月の十六日です。四年生になる前の長い休みの期間中に、私は一ヶ月間「アジア共論体」という特別の授業を受けました。この授業の目的は、東南アジア各国の学生にアジア共論体の基礎的情報やメリットを教えるというものです。東南アジアの人々といっても皆がこの授業を受けられるというわけではなりません。カンボジアでは、プノンペン大学の日本語学科の学生しか受けられません。全体の授業は三つの言語で行なわれました。クメール語と日本語と英語です。授業の内容は難しいものですが、担当の先生方はよく説明をしてくれましたので大切なところはわかりました。

この特別授業が終わってすぐ新学期になりました。日本語学科の学生は4年生になると、二つのクラスに分けられます。それは日本語教育と日本語ビジネスというクラスです。私は、日本語教育を専攻することにしました。今のクラスで学んでいる科目は一年生から三年生までの科目ととても違います。漢字を書くとか、文法を学ぶということはもうありません。日本語の教師としての教え方を勉強したり、卒業論文を書くためのことをします。全部新しいことなのでちょっとわかりにくいところもありますが、けっこうおもしろいです。

四年生になってはじめて先生が(以前)私達に教えてくれたことが前よりわかるようになりました。将来本当に日本語の先生になったら自分の学生に一生懸命どの方法がいいのか考えておしえようと思っています。

■ロット・フィリヤンさんの3年生終了までの成績を見ると、全科目(38科目)の99%がAです。GPAは、最高の4.0です。



二年生の時の学生生活

王立プノンペン大学3年生

サウ・セレイサンボー

私は王立プノンペン大学外国語学部日本語学科の三年生です。SESCC の皆さまにこの一年間の学生生活についてご報告させていただきます。今、二年生の時のことを思い出しています。

二年生の授業が始まった時、私は大変だなあと思いました。なぜなら、科目は全部日本語で勉強しなければならないからです。それは一年生の時と違いました。日常生活も勉強生活もすごく大変でした。食べ物も勉強の道具も足りなかったです。それはお金が問題だからです。しかし、その後よくなりました。それはどうしてでしょうか。それはSESCCの奨学金をもらったからです。そのお金によって色々なことが助かりました。そのお金のおかげで勉強生活が良くなりました。勉強に使う物を買ったり、食べ物を買ったり、家賃を払ったりすることができました。

実は前は日本語の補修塾でも勉強をしたいと思っていましたが、お金がないので勉強できませんでした。しかし、奨学金をもらって塾で日本語能力試験対策授業を受けることができ、日本語検定 N3レベルに合格することができました。また、私の家族も助かりました。なぜなら私の家族は経済的に大変なのですが、私にお金を送らなくてすんだからです。

私は勉強する気力も体力ももっています。二年生の時、宿題がたくさんで、本当に忙しかったです。でも、二年生の最後まで一生懸命勉強したので全科目合格しました。本当に嬉しかったです。

私は、将来国の人材になりたいです。また、田舎で私を待っている家族の望みをかなえるようになりたいです。そして私を応援してくださったSESCCの皆さんががっかりしないように、三年生の学生生活を精一杯頑張っていきたいと思っています。

■サウ・セレイサンボーさんの2年生の時の学業成績は全科目Aで、GPAは最高の4.00です。

ご報告

2013年8月25日、淀精神医学研究所にて第7回総会が無事終了いたしました。
ご協力ありがとうございました。



熱心に審議していただきました。



交流会での楽しい一コマ

♥編集後記♥

この紙面がみな様のお手元に届くころ、横山代表夫妻と前田会員は本会の奨学生に奨学金を直接届けるために王立ブノンペン大学を訪れています。2ページでご紹介しましたが、本会の奨学生はみな優秀でよく頑張っていて、作文を見ても日本語がメキメキ上達していることが分かり、私も誇らしい気持ちになります。会員のみな様のお気持ちの結晶であるこの奨学金が、優秀な人材の育成に役に立っていることをお伝えできて嬉しく思います。

(ニュースレター制作担当 桑野 嘉津子)

☆☆あなたに出来る こんなこと☆☆

◎会員になる

年会費 3,000 円を下記の郵便振替口座に払い込むと会員になることができます。

会員には「会報」「ラウンド・テーブルのお知らせ」など各種のご案内をさせていただきます。

◎寄付をする

1) 一般寄付

日本では僅かなお金でもカンボジアでは、次のような色々な支援ができます。可能な方はいくらでも結構です。ぜひ応援してください。

例えば、100 円で鉛筆を10本、500 円でノートを10冊、5,000 円で小学校低学年用の薄い絵本を13冊くらい買うことができます。

2) 使用目的指定の寄付～奨学金のための費用として

- ・ 貧困地区の子どもを小学校に通わせる
一人8,000 円（1年間分）
- ・ 貧困地区の子どもを中学校に通わせる
一人10,000 円（1年間分）
- ・ 女子大学生に授業料として奨学金を贈る
一人50,000 円（1年間分）
25,000 円（半期分）

◇奨学金は本会とその方のお名前で贈らせていただきます。

3) 未使用の切手やハガキ書き（損じのハガキ）等の寄付。

◎資金確保のためのチャリティ事業などを行う際、ボランティアをする。

◎ラウンド・テーブルや写真展に参加する。

◎友達や家族に本会のことを伝える。

※下記事務局までご連絡ください。

カンボジアの子ども達の教育を支援する会

—事務局—

住所：〒811-4174 宗像市自由ヶ丘西町 9-4

代表 横山正幸 方

TEL/Fax : 0940-33-1457

E-mail : sescfukuoka@infoseek.jp

URL : <http://sescfukuoka.pepper.jp/>

—郵便振替口座—

口座番号：01730-9-47392

口座名称：カンボジアの子ども達の教育を支援する会